

館長のガラストーク



田邊 茉子「浮」



西川 慎「時の記憶」



西川 慎 石膏型

田邊さんの作品は、半透明の水の中に淡い褐色のクラゲがふわふわと漂っているようなとても不思議な雰囲気を持っています。作品の下半分は褐色の模様を持つ層が重なって厚みが増し、向こう側が見通せないほど不透明の状態になっています。

一見するとこれまで何度か紹介してきた電気炉による鑄造（粘土で原型を作り石膏で型を取って乾いたら粘土を掻き出し、ガラスの塊を詰めて電気炉で溶解し、徐冷して型から取り出して仕上げる）の作品に見えますが、少し異なります。石膏型にガラス塊を詰める所で、田邊さんはあらかじめ作っておいたパーツを入れ込むのです。ガラスの粉末で色を付けた板状のものや、透明ガラスの塊、小さな色粒などです。配置後、電気炉の温度を上げて溶着しますが、この時、熱で透明ガラスが歪んだり、色粒が滲むなど、ガラスがさまざまな動きを見せます。ここが田邊さんの狙い目です。

倉敷芸術科学大学でガラス造形を学ぶ際、鑄造作業によるある程度予想された結果に対して、もっと内側に手を加えたいという思いに駆られ、パーツを組み込む発想に至ったようです。それによってガラスという素材の持つ透明、半透明、不透明、色彩などの要素が鑄造のものより複雑に絡み合い、見る角度や、光の透過や反射によって変化に富んだ表情をみせるからです。

半透明のガラスを主体にした今回の作品は、画像からではその複雑な立体性を捕らえることはできません。是非、ご来館の上、作品を直接ご覧になってください。

（参考までに、ガラス鑄造の第一人者である西川慎さんが当館で制作したウランガラスの作品と石膏型の画像を付け加えておきます）。

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

<展覧会情報> 「岡山のガラス作家たちPart.2-さまざまな意匠」展2012年9月19日(水)~2013年4月1日(月)

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868)44-7888

第13回

岡山県障害者「輝いてキラリンピック」(個人競技)のご案内

障害のある方が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障害に対する正しい理解と認識を深め、障害のある方の社会参加を促進することを目的として開催されます。

【参加資格】平成25年4月1日現在で、13歳以上の身体、知的、精神に障害のある方で岡山県内に住所を有する方

【競技種目及び開催予定日等】

競技名	対象	開催期日	会場
フライングディスク	身体・知的・精神 (※精神について詳しくは、下記の記事をご参照ください。)	4月27日(土)	岡山ドーム
水泳	身体・知的	4月28日(日)	児島マリナプール
陸上競技	身体・知的	5月12日(日)	カンコースタジアム
卓球	身体・知的	5月18日(土)	桃太郎アリーナ
アーチェリー	身体	5月19日(日)	岡山市総合文化体育館弓道場
ボウリング	知的	5月26日(日)(ガーター有) 6月10日(月)(ガーター無)	サンフラワーボウル

※障害の内容や年齢等により参加できる競技が異なります。

【申込期限】平成25年1月18日(金)

申込・お問い合わせ先 鏡野町 保健福祉課 電話(0868)54-2986

★フライングディスク(精神)オープン参加について

オープン参加という形で、精神障害者の方のフライングディスク競技が実施されます。

【参加資格】上記、スポーツ大会の参加資格に加え、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方。あるいは自立支援医療(精神通院)受給者証を所持している方

【申込期限】平成25年1月25日(金)

※選手の氏名、写真、映像がテレビ、新聞、ホームページ等で報道されることがあります。また大会プログラムには、障害区分、氏名等掲載されますのでご了承の上、お申し込みください。

申込・お問い合わせ先 保健指導推進センター 電話(0868)54-2025